

シロアリ早期発見のための5つのポイント

- | | |
|---------|---------------------|
| チェック項目1 | 羽や羽アリの死骸は落ちていないか |
| チェック項目2 | 木材に小さな穴や崩れはないか |
| チェック項目3 | 蟻道がないか |
| チェック項目4 | 床や畳がきしむ・沈む感覚はないか |
| チェック項目5 | 庭の木製構造物にシロアリの痕跡がないか |

チェック項目1 | 羽や羽アリの死骸は落ちていないか

羽アリは群飛(ぐんぴ)(※)と呼ばれる方法で、巣の拡大をおこないます。窓際、ベランダ、玄関などに羽アリはいないか、死骸は落ちていないかをチェックしましょう。また、羽アリは着地後羽を落とすため、羽だけ落ちている場合もあります。見落とさないよう注意しましょう。

※群飛(ぐんぴ):新しい巣をつくるために羽アリの集団で移動すること。巣がある程度大きくなったり、木材が近づくようになったときに起こる

チェック項目2 | 木材に小さな穴や崩れはないか

床や柱に小さな穴や崩れがないか確認しましょう。駆除業者は点検の際、「打診」と呼ばれる診断方法を使います。柱を指でコンコンと叩いて、反響音から木材の状態を推測するのです。

シロアリの被害にあっていない木材は中身が詰まっているため、叩いたときに重い音がしますが、被害にあうと内部が空洞になり軽い音がします。経験がないと正確な判断は難しいですが、怪しい場合は駆除業者に相談しましょう。

チェック項目3 | 蟻道がないか

蟻道は餌となる木材や水場と巣とをつなぐようにつくられます。主な場所は以下のとおりです。

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">● 立ち上がり● 束石・束柱● 断熱材● ベタ基礎● 配管周辺● 外壁● 化粧モルタル・タイル張り● 放置された木材・木柵 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

発見した場合、触らず撮影だけして一刻も早くシロアリ駆除業者に相談してください。壊すとシロアリが警戒し、別の場所へ逃げる可能性があります。

チェック項目4 | 床や畳がきしむ・沈む感覚はないか

シロアリ被害にあった床はフカフカし、足裏への反発感が弱まります。また、シロアリは木材のほかに畳の芯に使用されている藁も好むため、畳の感触に違和感がある場合も要注意です。怪しい場合は畳を外して裏側や畳下板に土がついていないか確認してください。

チェック項目5 | 庭の木製構造物にシロアリの痕跡がないか

住宅の中だけでなく、庭や倉庫などに放置されている木材がないか確認しましょう。家の外からと放置するのは危険です。木材を食べ尽くしたシロアリが新たな餌を求めて、住宅に侵入する可能性があります。

- ウッドデッキ
- 木製フェンス
- 木製の門柱
- 庭の枕木や杭
- 放置された木材
- 切り株
- 古いダンボール
- 木造の物置